



# リコーITソリューションズ株式会社



リコーグループは1936年の創業以来、「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という三愛精神を企業活動の原点に据え、世の中にイノベーションをもたらす製品やサービスを提供しています。また、お客様と共に成長するという社風を一人一人が大切にしています。リコーグループは2036年に100周年を迎えるということで「2036年ビジョン」を立てています。

信頼と魅力のある先進のIT（Information Technology）をもとに、人と関わるコミュニケーションを大切に、人々が活用する様々な情報をつなぐことにより、お客様のワークスタイル・イノベーションの実現を目指しており、リコーグループは働く人に喜びを伝えることを目的としています。HPにも記載がある通り、リコーグループでは「私たちの価値観」と謳い、7つのスローガンを掲げており、この7つのどこにささっているのか皆が意識して仕事をしています。

## 【7つのスローガン】

- 「CUSTOMER-CENTRIC お客様の立場で考え、行動する」
- 「PASSION 何事も前向きに、情熱を持って取り組む」
- 「GEMBA 現場・現物・現実から学び改善する」
- 「INNOVATION 制約を設けず、柔軟に発想し、価値を生み出す」
- 「TEAMWORK お互いを認め合い、すべての人と共創する」
- 「WINNING SPIRIT 失敗をおそれず、まずチャレンジし、成功を勝ち取る」
- 「ETHICS AND INTEGRITY 誠実に、正直に、責任を持って行動する」



前代表取締役 社長執行役員  
(2023年3月末まで)  
\*4月より社長は野水 泰之 さん

## 代表インタビュー

橋本 泰成 さん

### 【社内の風習などはありますか】

一年間の事業活動の中で「こういう成果がありました」「こういうお客様へのお役立ちがありました」というものを社内で決めており、1番大きな成果を出した人には、RITSMVPという賞が与えられます。弊社ではそういった表彰する制度があり、社員のモチベーションややる気を大切にしています。



取材時の様子

オフィススペース

## — [ 会社概要 ] —

リコー製の複写機・複合機を始め、クラウドサービスを用いたドキュメントソリューションなどのオフィス関連機器のソフトウェア開発を手がけています。高品質な印刷を実現するための画像処理技術、ネットワーク技術、セキュリティ技術、VRなどの最先端技術など、提供技術領域は多岐にわたりリコー製品を支える高い技術力を保持しています。



会社HP: <https://www.jrits.co.jp/>



会社名: リコーITソリューションズ株式会社

業種: 情報通信業

設立: 昭和57年10月5日

従業員数: 鳥取事業所97名

代表: 木下明弘

場所: 鳥取県鳥取市千代水1-100

## 社員インタビュー

### Q リコーを知ったきっかけ //

大学の先生からカメラを勧められて調べていくうちにリコーの製品である「THETA（シータ）」という360度カメラに興味を惹かれ、より深掘りしていくうちに鳥取にもリコーの事業所があることを知りました。

### Q 仕事をする上でやりがいを感じる場面はどんな時ですか //

製品を作っているので自社の製品がお客さんに使われているときが一番やりがいを感じます。

### Q 印象に残った出来事がありますか //

アプリ開発で主担当となった時、お客様目線に立ち、どのようにしたら利用しやすいかを周りのメンバーと試行錯誤しながら進めたときは大変ながらも楽しく仕事ことができました。

### Q あってよかった福利厚生は //

育児休暇がとりやすく昨年のデータだと男性の育児休暇率も80%を超えていました。スムーズな職場復帰をサポートする施策や仕組み作りがあり取得してよかったと感じました。

所属：西日本開発センター鳥取第1開発部第1グループ

### 安藤 泰正さん【入社して9年】



所属：西日本開発センター鳥取第2開発部第3グループ

### 藤原 英晃さん【入社して9年】

### Q 仕事をする上でやりがいを感じる場面はどんな時ですか //

様々なITの技術がある中、自分が学びたいと思う技術を学んで実際の製品に搭載してそれが世の中に増えていくと知ったとき。自分が勉強したことが世の中のためになっていると感じるのでまた新たな技術を学びたいと感じます。自分の作ったものが世界中で使われていると考えると嬉しいです。

### Q 学生時代にしておいたことがいいことは何ですか //

沢山の趣味や経験をするとういと思っています。社会に出るとコミュニケーションが大切となるので何気ない会話でもそういった経験談で打ち解けやすくなると思います。



所属：西日本開発センター鳥取第1開発部第1グループ

### 山根 大河さん【入社して3年】



## 学生インタビュー

自分が作った製品が世界に出回るということに驚きました。

そのためには社員さん同士で念入りな打合せが必要であることを聞き、製品作りの中で最も大切なことはコミュニケーションであることを知りました。

また、オフィスがリニューアルされて、オフィス内を鳥取の景観をイメージした配色にしたり、遊び心も取り入れながら社員さんが仕事をしやすい空間を作っていることにこだわります。

そして、創業当時から現在までに作られているプリンターを実際に見ることができ、とてもいい経験になりました。昔の機器と比べるとコンパクトになり技術も多く取り入れられていると聞き、時代の流れや社員さんの努力を感じます。



会社説明時の様子

## 社長への追加質問

【HPで障がい者採用という項目をみたのですが、障がい者の方はどの分野でご活躍をされているのですか？】

残念ながら、現在のところ鳥取事業所には在席していませんが、従業員が希望する事業所を選択できるようになっています。

彼らの中には、営業担当としてお客様訪問するSEもいますし、内勤業務を担当しているスタッフもいます。

障がいの有無に関わらず、すべての従業員が個々の特性を活かせるよう、部門配置をしています。スタッフに「自分が会社を支えているんだ」といった気持ちで業務に臨んでもらうには、ひとりひとりが最高のパフォーマンスを発揮できる環境が大切なのだと思います。

なお、社内施設のバリアフリー化については計画的に進めているところです。

【ITエンジニアには、文系の学生でもなれますか？】

文系学生も歓迎しています。実際に弊社スタッフの3割くらいは文系出身です。

理系であっても電気電子やIT関連は未経験で入社する学生も多くいます。

もちろん、経験者にはアドバンテージがありますが、半年間の新人集合研修は、経験者・初心者のどちらにとっても多くの学びの場になっています。仲間同士で協力し合って「教え・教えられる」ことで、知識を整理し技術力を上げられます。文系理系については、あまり意識する必要はありません。



鳥取事業所で開発中のコピー機

## 編集後記

新たなオフィスでの取材となり学生もワクワクしながら見学させていただきました。綺麗になっただけではなくその中にこだわりや社員想いな設備、バリアフリーを取り入れた設計となっており、考えつくされたスペースとなっていました。社員さんの仕事に対する思いであったり過去の経験、学生に向けたメッセージは視野を広げるとてもいい経験になったかと思えます。